

## 設 立 趣 旨 書

今、家庭・学校・地域の子どもの置かれた教育環境を考えたとき、学びの場が様々な事情により確保できないことで自分を活かせず、自分に自信が持てず、自分を大事にできない児童・生徒の存在を見逃せない現実があります。

また、地域・家庭環境が抱える教育課題や学校教育現場の抱える課題は少ないとは言えません。その結果、子ども自身が自分の良さを活かすことができず、集団の中で個性を発揮できない現実があります。

学校教育では学習指導要領で「生きる力」の育成を目指し、日々「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」を育てる取り組みが行われています。しかし、この「生きる力」の育成には学校教育だけでなく家庭・地域の中での日々のはぐくみが、同じ視点の中で取り組まれることが不可欠です。

そこで、地域教育力の役割としての地域の学びの場・学びの環境づくりが子どもの育ちに必要と考えます。現状でも多くの地域のびと・家庭において、地域教育力としての様々な取り組みが行われています。私たちはこれらの多くの取り組みの一助となるため、子育ての支援を通して、子どもが自分に自信を持ち、健やかに成長し、自分の力で考え、判断し、表現する力をつけるための環境作りの手伝いを行いたいと願っています。

そのためには、創作活動や教育・文化・芸術・演劇・科学・野外活動等に触れる環境づくりを行い、穏やかな心で、様々な物に触れ、経験することで豊かな人間性の育成につなげたいと考えます。そして、活動の中で直接体験や実感を通した学びの場をつくり、学んだ力を元に表現したり判断したりすることを通じて、解決する力や協調性、思いやる心を育てたいと考えます。

この環境づくりには、大人と子どもと一緒に活動することを通して、互いを理解する場を作ることが大切だと考えます。創作活動や体験活動等を大人と子どもが同じ場所で、同じ目的で活動することによって子ども同士の関わりの様子を知ると同時に、子どもと大人、大人同士の関わりの中で子どもの自発的な育ちのために大人がどのような関わりができるかを学ぶことができると考えます。

さらに、様々な事情により学習活動に支援の必要な子どもへの対応も併せて行い、子どもに学びへの自信を持たせる活動を行いたいと考えます。

私たちはこの活動を、多くの人の賛同と協力を得ながら地域に広げて活動して行きたいと考えています。そのためには、責任の所在を明確にし、事業の透明性を確保するため、NPO法人として活動することが妥当であると考え、ここに「NPO法人 がくじん舎」の設立を目指すに至りました。

2013年1月19日

法人の名称      NPO法人 がくじん舎

設立代表者      吉田 博信